
禅

28号 (通巻208号)

2008

目次

宗教の窓

幸せな人生を送るために…………… 山本 玄性 2

提唱 槐安国語鈔講話(八) 頌古

第五則 百丈耳聾…………… 白田 劫石 5

連載 驢鞍橋講話

第八話 (一) 佛道修行とは二王不動の大堅固の
機を修する事也

(二) 修行と云うは強き心を用いる事也

…………… 丸川 春潭 15
延時 真覚

法話

『千の風』の禅的吟味…………… 丸川 春潭 25

講演

今を生きる(一)…………… 東 絶海 37

特集 剣禅一味 剣道範士小川忠太郎先生と宏道会

宏道会五十周年記念式総裁挨拶 …… 丸川 春潭 50

小川忠太郎先生 最後の訓話…………… 小川 刀耕 53

剣道範士小川忠太郎先生 道人の生涯 (一)

…………… 長野 善光 57

宏道会の剣道	佐瀬 霞山	66
剣士の本懐	栗山 令道	69
剣、禅の道を生きて(一)	武藤 仁剣	76
驚きに満ちた場所	松本 佳代子	84
論説		
山岡鉄舟と禅・書・剣(三)	島 行道	86
日本文化と禅		
禅とわが国本来の詩歌	堀井 妙泉	94
織田有楽流「道具無し」	佐藤 妙珠	98
山と俳句(三) 剣岳回想	井本 光蓮	101
人間禅の書(一)	藤井 紹滴	106
禅会だより		
広島禅会について	小島 光禅	109
編集後記		112

表紙解説

小川忠太郎先生 正眼の構え(昭和61年、宏道会剣道場にて)

先生曰く「剣道は正眼に構えたままで迷いを生じさせないようにする、これが究極である。二念を継がず」

会員問う「生きる目標如何?」先生答えて曰く「正念相続」と。また曰く「正念相続を数息観でしっかりやり、さらに直心影流法定之形、小野派一刀流の形、そして仕上げに防具稽古の上でやれるように」「数息観は、一呼吸の中に雑念を交えない。吸う息、吐く息の中に雑念を交えない。一念・一念を正念化する。数息観こそ念々正念に入る秘訣である」「正念相続の修行こそ人間形成の険関であり、真髓である。念々正念の修行は、道場内だけではない。日常生活の上で、正念の工夫を絶やさない。これが本当の剣道である」と。

